



非常用管制塔装置(展開時)

## EVA-05C型非常用管制塔装置を東京国際空港へ納入

EVA-05C型非常用管制塔装置を2020年6月26日に東京国際空港(羽田)へ納入しました。これまで、東京国際空港のほかにも福岡空港(EVA-05A)と大阪国際空港(EVA-05B)に納入実績があります。

非常用管制塔装置は、管制シェルタ・昇降設備、通信シェルタ、電源シェルタで構成され、常設の航空管制システムが不測の事態に陥ったときの代替装置として使用されます。初号機は、東日本大震災で被災した仙台空港の復旧でも活躍した実績があり、航空インフラにおいて非常に重要な役目を果たしています。

明星電気は、これまで培った経験とノウハウを生かし、空の安全に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)



川崎市に設置されたPOTEKA

## 川崎市気象防災情報システムにPOTEKA採用

川崎市では雨量観測局26局、水位観測局6局、潮位観測局1局の計33局の観測システムが構築されています。2020年より本システムにPOTEKAが採用され、市内に観測機材を設置し、気象情報(風向・風速・気温・湿度・気圧)、雨量情報、水位情報、潮位情報の各データを総合防災情報システムに送り、既設システムと連携しています。

広大な地域をカバーするためには多くの装置を設置する必要がありますが、POTEKAを導入することで、機材の管理運営に関する手間を軽減できることを評価していただきました。

明星電気は、これからも皆さまの安全・安心に貢献できるように、POTEKA事業を推進していきます。

(担当: 気象防災事業部)


 明星電気バーチャル展示会  
ホームページ

## Small Satellite Conference 2020バーチャル展示会出展

2020年8月1日~6日(米国現地時間)に開催されるSmall Satellite Conference 2020(SSC2020)に出展します。例年、米国ユタ州立大学で開催されていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによるバーチャル展示会となりました。また、初の取り組みとして、所定の時間にアクセスするとリアルタイムで参加可能な「ライブイベント」が行われ、当社は8月5日 8:30~9:30(日本時間)に実施します。

明星電気は2012年より出展を重ね、衛星コンポーネントメーカーとして存在感を高めてきました。今後も変わりつつある情勢に対応していくために、VR/AR/360°カメラなどによる新しい体験を提供できるPR資料や専用ホームページを制作し、オンライン展示を行います。

新しい手法で積極的に顧客のニーズをつかみ、宇宙開発の発展に貢献していきます。

SSC2020ホームページ <https://smallsat.org/>

明星電気バーチャル展示会ホームページ <http://www.meisei.jp/SSC/>

(担当: 宇宙防衛事業部)

【文中: 敬称略】

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。